

重点6 人権教育の充実

ねらい

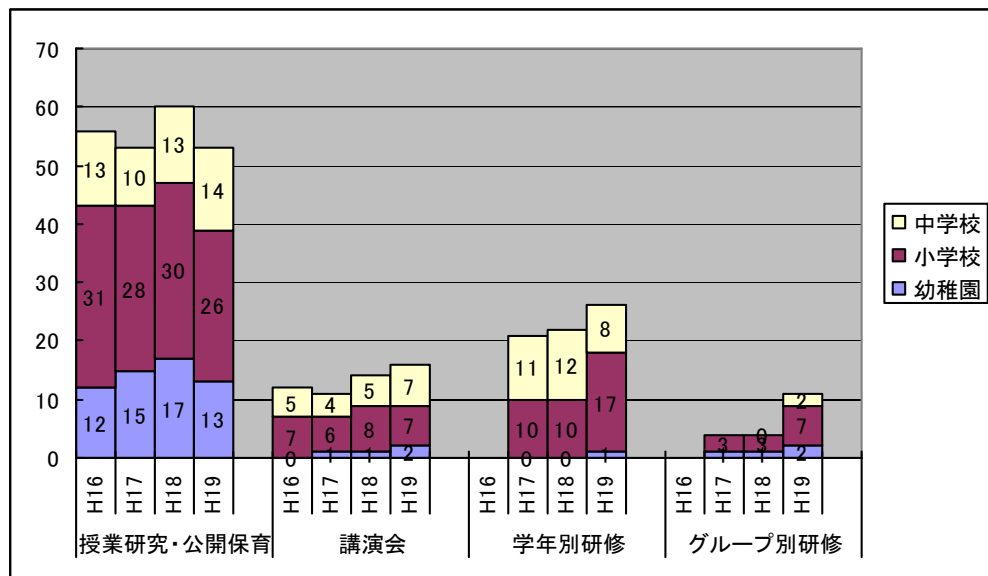
人権を尊重し、差別をなくす実践力を育成します。

<推進の重点>

- 「四日市市人権教育・啓発基本方針」「四日市市学校教育ビジョン」「学校教育指導方針」を踏まえ、各校園の人権教育推進計画の策定・充実に努めます。
- 各校園の人権教育の実践の成果と課題に基づいた人権教育推進のためのカリキュラムや学習プログラムを作成し、人権教育を充実・発展させます。
- 校内の人権教育を一層推進するため、その中心となりうる教職員および子どものリーダーを育成します。
- 授業交流、情報交換等を進め、中学校ブロックにおける保幼小中の連携を一層深めます。

現 状

○ 人権教育にかかわる校園内の研修推進状況

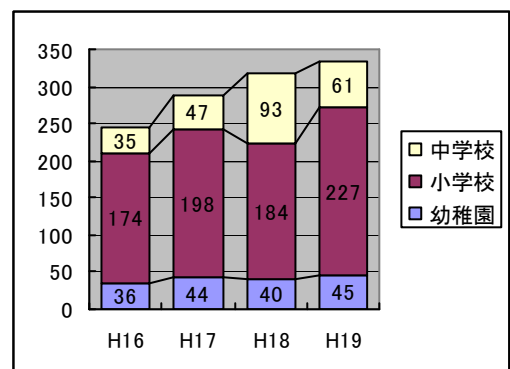


<研修内容例>

- 実践討議
 - * 人権に関する地域の歴史や住民の意識調査に基づいた討議
 - * 実践記録に基づいた研究協議
 - * 教師自身の人権感覚を確かめる話し合い
 - * ワークショップ、参加型等によるテーマに沿ったグループ討議
- 授業研究の充実
 - * 提案授業をもとにした研究討議
- 講師による指導
 - * 講演、授業、実践記録をもとにした指導助言

<指導主事要請訪問回数>

(人権・同和教育課分)



○ 人権教育教職員研修会（平成19年度）

研修会名	月	内 容	参加者数
人権教育推進委員研修会	5	人権・同和教育推進のリーダーとして（講演 尾崎美恵子）	61
幼稚園人権教育実践研修会	7	多様な人権教育の展開のために（講演 戸田有一）	34
小中学校人権教育実践研修会	8	人権・同和教育の推進に向けて（講師 県教委 若山公治）	115
新採教職員人権教育研修会	8	人権問題入門（人権プラザ小牧 指導主事）	59
人権教育リーダー育成研修会	7・8	部落史学習（中尾健次）人権総合学習（森実）	30

○ 人権教育推進校委託事業（平成19年度）

<19年度推進校園> 幼稚園2園 … 富洲原, 保々 小学校4校 … 大谷台, 笹川東, 中央, 常磐
中学校3校 … 桜, 常磐, 保々

○市内小中学校への授業公開（大谷台小：北勢地区人権・同和教育研究会公開研究会開催）

○学校人権教育のてびき第50集「学校における人権学習プログラム～人権教育推進校の実践から～」作成

*各種研究会への参加, 人権関係施設（水平社博物館等）での研修及び還流報告

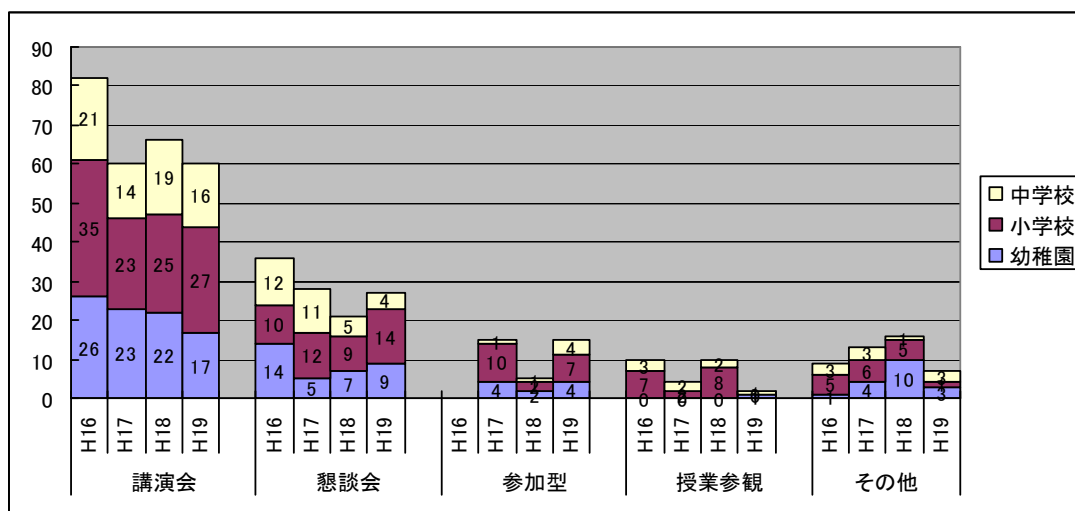
*四同研大会, 三同教大会, 三外教研究大会, 外国人集住都市会議への参加

*先進校視察研修（中学校3年間を見通した人権教育の進め方）, 先進園視察研修（幼稚園での人権教育）

○ PTA人権問題研修会状況

幼稚園・21園（24園中）, 小学校・25校（40校中）, 中学校18校（22校中）にて実施。

<実施形態>



○ 中学校ブロック人権教育研修状況（平成19年度）

全22中学校ブロックに委託

研 修 内 容	実施ブロック数・のべ回数
ア 講演会	21ブロック ・ 33回
イ 授業公開（小・中）, 保育公開（幼）	22ブロック ・ 101回
ウ ブロック内情報交換, 連絡会	22ブロック ・ 156回

○ 中学校区ブロック子ども人権フォーラム事業実施状況（平成19年度）

近隣の中学校区に在籍する小学校6年生と中学生（全員または代表）が集まり, 自らの人権に対する体験や考え方を発表する総合的な活動の中で, 子どもたちが教育関係者とともに, 差別をなくそうとする生き方・人権尊重の生き方を共に高めあうことを目的に22中学校ブロックで開催しました。

第3章 子どもたちを指導する上で特に重要と考えるもの

(内容例)

- * 各校で開催した人権ミニフォーラムの報告とテーマ別(部落問題、障害者問題、いじめ問題等)討議
- * 参加体験型ワークショップによる交流と「みんながアドバイザー」という形式での意見交換
- * 中学校での多文化共生の学習発表(人権劇)を鑑賞後、国際理解に関する感想交流会を開催
- * 人権コンサートや講演後、分散会に分かれての意見交換会を開催
- * 地域の大人や校区にある高校の生徒も参加しての意見交流

○ 人権ポスター・作文応募状況(平成19年度)

- * 人権ポスター 57校園 272点(保2園・幼2園・小36校・中15校・高2校)
- * 人権作文 34校 89点(小20校・中14校)

○ いじめや差別をなくす人権意識向上事業(平成19年度)

いじめや差別のない学校づくりに向けて、市内小中学校の取組を一層推進するために、教師および保護者を対象に、人権意識を高め、子どもの人権を尊重する啓発冊子を作成しました。また、指導主事が直接各学校を訪問し、冊子をもとに、教職員自らの人権感覚を振り返る研修会を実施しました。

<作成した冊子>

- ・「いじめや差別をなくすために私たちにできること」～見直そう、振り返ろう、自らの人権感覚～(事例集 学校教育関係者編)
- * 64校園(保1園・幼8園・小36校・中19校)で研修会を実施
- ・「いっしょに考えよう～いじめ問題～(保護者編)」一かけがえのない子どもたちのために～
- * 平成20年度に研修会を実施予定

○ 人権教育教職員研修派遣事業(平成19年度)

<研修派遣人数> 幼小中学校教職員対象

開催月・研究大会及び研修名・参加人数			開催月・研究大会及び研修会名・参加人数		
6月	「せいかつ」実践交流会(津)	13	11月	全国人権・同和教育研究大会(石川)	10
7月	「にんげん」セミナー(大阪)	8	11月	全国解放保育研究集会(和歌山)	4
8月	県教委主催園長研修会(四日市)	24	1月	三重県在日外国人教育研究集会(津)	5
8月	部落解放・人権夏期セミナー(奈良)	1	2月	「なかま」実践研究集会(奈良)	2
8月	全国在日外国人教育研究集会(京都)	2	2月	どの子ども伸びる研究会(和歌山)	1
8月	大阪府人権教育夏季研究会(大阪)	17	2月	部落解放研究三重県集会(津)	1
10月	三重県人権・同和教育研究大会(松阪)	116	2月	人権啓発研究集会(名古屋)	2
11月	部落解放研究全国集会(長野)	1	2月	三人教分野別研究会(津)	2

○ 子ども人権文化創造事業(平成19年度)

5地域の子ども人権文化育成協議会に事業を委託

◎ 地域人権教育推進事業実施状況

拠点地区	活動概要
保々地区 神前地区 常磐地区 日永地区	学校・家庭・地域が相互に連携し、子どもの基本的人権を尊重する精神を育成するとともに、子ども一人一人が大切にされる地域社会の実現に努めました。そのために、児童集会所の施設を利用して、「人権学習」「福祉活動」「進路相談」及び子どもの居場所づくり等の事業を実施しました。
笹川地区	西笹川中学校区の外国人児童生徒を対象に日本語学習・生活文化体験交流を中心に活動しました。指導者は地域ボランティアと小中学校教員等が担当しました。

*人権学習 4地区平均 131回開催 のべ4地区平均 641人が参加

◎ 子ども人権活動地域支援実施状況

地域ボランティア等の協力を得て、小牧・寺方・赤堀・天白の各児童集会所を開放し、学習や遊びの場を提供しています。

*児童集会所の開放日数 4児童集会所 平均 265日(年間)

*設置パソコン利用状況 4児童集会所 平均 89回 のべ4地区平均 356人(年間)

◎ キッズ・スクール

放課後・休日等に子どもたちの居場所づくりと、仲間としてお互いに尊重し合う心を育むことを目的として、小牧・神前・赤堀・天白各人権プラザ(児童集会所)を中心として、スポーツ活動、教養・文化活動等を実施しています。

*開催回数 4地区平均 38回(年間:水・土・日曜日に開催)

<おもな活動>

スポーツ活動	卓球教室, グラウンド・ゴルフ, フラッグ・フットボール
レクリエーション	集団遊び, みんなで遊ぼう会
教養・文化活動	絵手紙, 科学実験, 紙芝居・劇(人形劇)・映画の視聴, 習字, 手芸, ちぎり絵 手作りおもちゃづくり, リサイクル工作, シャボン玉作り, 菜園活動, 星空観察会, 手打ちうどん・べっこう飴・クッキーづくり, パソコン教室, 和太鼓教室, おりが み教室, 青年会との交流, 音楽活動, 手話体験教室, 日永つんつく踊り

○ 学校人権(同和)教育のてびき

1974(昭和49)年より毎年1~2冊, 指導資料を作成し, 各学校へ配布しました。

第41集 「西朝明中学校の実践」	第42集 「西笹川中学校の実践」
第43集 「部落史学習地域資料Ⅰ」	第44集 「常磐小学校の実践」
第45集 「部落史学習地域資料Ⅱ」	第46集 「富田中学校の実践」
第47集 「下野小学校の実践」	第48集 「学校における人権学習プログラム」
第49集 「朝明中学校の実践」	第50集 「学校における人権学習プログラム」

課 題 (今後の方向)

- いじめ, 同和問題, 外国人・障害者・子ども・高齢者・女性等の人権に関する問題に潜む差別や偏見を見抜き, その解決に向けた行動力を培う学習活動を進めます。
- 一人一人の子どもの思いや願い, 生活実態の把握に努め, 子どもが, 自分自身や他の人を大切にしながら, 主体的に活動できる学習方法や内容を工夫します。
- すべての学校・園で, 研修体制や子どもの実態に即した人権教育推進計画の見直しを進め, あわせて, 人権学習カリキュラムおよびプログラムの整備を進めます。
- すべての学校・園で, 中学校ブロック内のさらなる連携を進めます。また, 中学校ブロックごとの子ども人権フォーラムをより充実したものにします。
- 学校関係者・保護者一人一人が自分の人権感覚を見直すための研修機会を充実し, 人権意識の高揚に努めます。
- さまざまな人権課題の解決に向け, 社会教育と学校教育が連携し, 保護者, 地域の協力を得ながら人権教育を推進します。